



世界に希望を生み出そう

会長 辻 啓明 例会日 毎週木曜日 12:30～13:30
副会長 下郡山 永一 例会場 レンブラントホテル海老名
幹事 松本 健司 事務局 海老名プライムタワー10階
副幹事 上 蘭 朗 海老名市中央2-9-50
会長エレクト 篠原 康史 TEL: 046(233)5122
編集:佐藤 まどか 飯島 博之 FAX: 046-233-3322
窪 悠久 下郡山 永一 上 蘭 朗 E-mail: keyakirc@alto.ocn.ne.jp

第 1235回 例会 2023年（令和 5年）9月7日（木）

本日の例会

9月7日 卓話 「会員増強について」
卓話者 三浦ロータリークラブ
前年度会員増強委員長 二塚雅則氏

9月の予定

9月14日 大欖掃除(移動例会)
9月21日 休会
9月25日 海老名・海老名欖合同例会

前回の例会 第1231回

ビジッター・ゲストの紹介

特定非営利活動法人Compass
学童保育Anchor 代表 松嶋 希 様
中峰 陸人様 渡邊 優央様
オブザーバー 保険代理店 金子様

会長挨拶

学童アンカーより松島様。
ようこそ。
同じくアンカーより渡辺
様。中峰様。ようこそ。
今日はオープン例会とい
うことで、オブザーバー
で金子様さん。
ありがとうございます。



地域のこととか、今やってる活動、色々教えていただければなと思いますので、よろしく
お願いします。
話を聞いてるとですね、信一さんとか色々繋
がってる方がクラブの中でもいらっしゃいま
すので、自分たちのやってる活動っていうの

意外と遠くにあるようで、実はなんか近くで、
そういう活動が行われてるってことが、今日ま
た改めて、勉強させてもらいながら、気付ける
かなと思いますので、今後のうちの奉仕活動の
ヒントに、あの、また奉仕活動の一部として、
何かできることはないかっていうそういう模索
する種になればいいなと思っています。
今日は、ゲストの方来ていただいて、ぜひ、う
ちの雰囲気とかそういうのを見ていただければ
と思います。いきなり歌って大丈夫かなみたい
な感じも、ちょっと見受けられることもあるん
ですけど。私も最初そうでしたけど。
自分が1番大事にしてるのは、「みんなのため
になるか」どうかで、これ結構大事にしていま
す。今日来てない人たちにもアンカーさん来
てもらったこの情報とか、伝えていって広がっ
ていけばいいなと思います。
本日ゆっくり楽しんでいってください。よろし
くお願いします。

ゲスト卓話 学童アンカー 地域と共に



私たち特定非営利活動
法人コンパスは、現在3
つの事業に取り組んで
おります。たまたま知
り合いが、この海老名
に新しい老人ホームが
できて、そこに学童保育所が併設されるとい
うことを聞き、立ち上げから関わることができ
ました。そこから10年間は本当にあっという間
でした。学童保育は子供のための事業でもありま

出席報告

会員数	出席数	出席率
34名	25名	73.53%

すが、働きながら子育てをすると決めた女性やそのご家族を応援できるやりがいのある職場でした。20代で母を病気で亡くしていたので、今できる最大限の親孝行だとも思っております。

あのアンカーの方針は、どんなお子さんでも通うことができる、障害があっても、経済的な困難を抱えていても利用できるえ学童を作るということが私の1番の目的でした。学童保育は軌道に乗り始めてスタートしましたが、子供やその家庭が抱えていることは決して小学校時代で終わるわけではありません。むしろ、中学校に上がると、子供の学力における差、経験の差、体験の差も顕著に生まれます。できることをやろうと決意して、学習生活支援事業に取り組むようになりました。学力をあげることも、子供たちが安心して楽しい場所でやってみたい、頑張りたいと思った時に、私たちが相談できる相手であるから。そう考えた時に、子供たちと年の近い学生スタッフのみんなに力を借りることが、この事業の大きな支えになると思いました。



僕がですね、この団体に関わり始めたのは5年前になるんですけども、今僕23歳で社会人1年目になります。僕の家も、単身家庭でお母さんと僕。僕が生まれてすぐ離婚して海老名に戻ってきてました。

僕がですね、この団体に関わり始めたのは5年前になるんですけども、今僕23歳で社会人1年目になります。僕の家も、単身家庭でお母さんと僕。僕が生まれてすぐ離婚して海老名に戻ってきてました。小学生の時と違って、あんまり気がつかないんですけど、自分の心が成長していく過程で、中学生、高校生になるにつれて、自分の家庭状況や金銭的な部分であったりとか、自分の家が他の家がちょっと違うっていうことに気が付き始めて、劣等感だったり他の家と違うっていう感覚はなかったんですけど、どっかであんまりお母さんに迷惑かけないようにしたいとか早く仕事して少しでもお母さんを楽にしたいっていう気持ちがありました。働くスタッフは、10代後半から20代前半が7割、8割を占めていまして20代後半から上は74歳までのスタッフが一緒に働く現場になっています。ヤングケアラーや、外国籍のあの親御さんで、日本に頼れる大人がいなかったりと

か、そういった家庭の子供たちを实际みると、一緒に働いている仲間たちも、どうやってできるかを一緒に考えようっていう仲間たちが僕らの周りにどんどん増えていきました。僕らに今できることは、子供たちがやりたいって言ったことであったりとか、自分たちがやってみたい、挑戦してみたい一緒にやっていただいたりとかすることでできたらと思っています。これからさらに広げていけたらいいなと思って活動進めています。



はじめまして。僕は19歳の渡辺と申します。よろしくお願いします。多い時は100人ぐらいの子供が遊びに来てくれて、よりみていで駄菓子屋を中でやって

います。海老名国分寺台でも、やっぱり困難を抱えている子供というのはいて、1人で毎回来て、どうしたの。って聞くと、家にいても何もないみたいな子が来ます。その1人で来てた子が、他に來てる子たちとまずは挨拶から始まって、そこから今度は一緒にお菓子を食べるようになって、で、それから、一緒に友達になってる姿を見てお互いを知り合いと言われる関係性を自分たちで作るのがこういう場所を設けさせてもらって、ものすごく嬉しいものだと感じます。

現在アンカーには子供が約80名いるんですが、そのうちの20名が単身家庭のお子さんになります。学習生活支援事業では25名の生活困窮家庭の補佐を受け入れています。

町の中の課題って決して学童保育だけにあるのではなくて、例えば自治会や商店街の高齢化であったりとか、学童の外にも困ってるお子さんだったり、いろんなケースがあります。

私たちが思うまちづくりは、1人でやるのではなく、誰かとできるようになることだと思っています。お互いの思いを共有したり、お互いのできることだったり、アイデアを出し合うことで、海老名という場はもっともっと良くなるんじゃないかなと思っています。子供だけでなく、私たち大人も誰しもが自分の心の中にそんな思いを持つことが、より良くなることなんじゃないのかなと思っています。

本日の例会場

